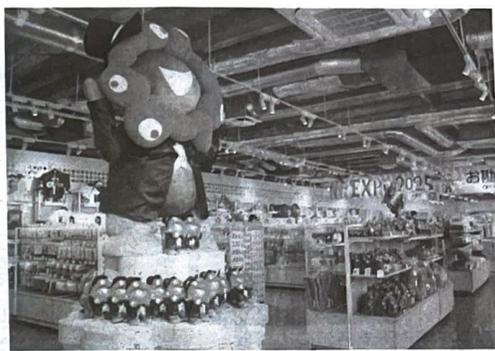


ト前に「つづつ設置した全4店舗がお見えた。近鉄百貨店が運営する「KI」と並んでいた。他の店舗も日本の文化や近未来をイメージしたこだわりの装飾を施した。事業者ごとに開発した独自商品を含めそれぞれ最大2500種類程度が並ぶ見通し。小規模店舗も会場内に四つ開店する。



大阪・関西万博のオフィシャルストア「KI NETSU」の店内。2日、大阪市此花区

16箱で一周分が完成する万博象徴の大屋根リングの木製模型(1箱3万3千

業者は「自分に合ったものを見つける」と自信を見せた。日本国際博覧会協会(万博協会)も物販を重要な事業と期待するが、購入した

24年度 新車販売1.0%増 3年連続、新型車効果

2024年度の国内新車販売台数は、前年度比1.0%増の457万5705台と3年連続で増加した。日本自動車販売協会連合会と全国軽自動車協会連合会

が1日に発表したデータを集計した。認証不正による生産停止の影響が尾を引いたが、新型車効果が出て前年度から微増となった。登録車は1.6%増の2

94万8294台だった。ブランド別ではホンダは新減の11万4463台。認証型「フリード」などが好調で21.4%増の37万8524台と躍進した。三菱自動車は10.0%増、SUBARU(スバル)が3.5%増だった。いずれも新型車効果が出た。

- 万博のお土産物
- 大型荷物の持ち込みは1週間預ける場合は1万円
 - コインロッカーは100円
 - レジ袋配布は原則紙袋と同じく有償
 - 商品の自宅受け取りは無料
 - 支払いは全面キャッシュ

た3月31日時点のレギュラーガソリン1リットル当たりの全国平均小売価格は、前週調査から40銭高い184円90銭だった。2週ぶりに値上げしている。経産省によると、補助金

経産省のパートナースhip構築大賞

M.T.Cが中小企業賞

金属プレス加工・板金加工を手掛ける「M.T.C」(大和高田市大谷、森久次社長)が、経済産業省が2022年度に新設した制度「パートナースhip構築大賞」の「中小企業賞」を受賞した。県内企業の受賞は初めてで、3月27日、森社長が山下真知事を表敬訪問して受賞を報告した。

同制度は、サプライチェーン全体での共存共栄を目指す「パートナースhip構築宣言」のさらなる拡大や、サプライチェーン全体での協力拡大の機運醸成が目的。同社は21年8月に宣言を公表した。

回パートナースhip構築シンポジウムが開かれ、宣言を公表する約6万社の中から同社を含め計5社の取り組みが表彰された。同社が取引先企業に対して行う「新加工法の提案」や「最



表彰状を手にする森社長(右)と山下知事(左) 3月27日、県庁

新機器の情報共有・貸与などの取り組みが評価された。県庁を訪れた森社長は山下知事に受賞を報告し、パートナースhip構築への取り組みを説明。山下知事は「(受賞を)うれしく思う」と祝いの言葉を述べ、「県内のリーディングカンパニーとして今後も頑張ってもらいたい」と激励した。森社長は「会社の成長を支えてくれた県に

要」と力を込める。同社は「より良い提案ができればパートナースhipとして求められる企業として存続する」を経営理念としており、森社長は「一人が一人で生きていけないのと同じように、企業も単独では存続できない。企業同士助け合っで成長していくことが重要」と力を込める。

2024年度の主なブランド別新車販売台数

ブランド名	登録車	軽自動車
トヨタ	140万3430 (▲0.8)	1万8042 (▲25.4)
ホンダ	37万8524 (21.4)	29万0081 (▲3.1)
日産	28万0603 (▲5.0)	18万0455 (▲4.5)
スズキ	13万2987 (8.9)	58万4729 (5.9)
マツダ	11万4463 (▲6.8)	3万7330 (0.5)
スバル	9万4689 (3.5)	1万4129 (11.5)
レクサス	8万3587 (▲7.5)	- (-)
三菱自	4万8145 (10.0)	6万9318 (3.6)
ダイハツ	2万1296 (10.0)	43万3098 (▲2.4)
その他	39万0570 (-)	229 (-)
合計	294万8294 (1.6)	162万7411 (0.1)
登録車と軽自動車の合計	457万5705 (1.0)	

※登録車は軽自動車を除く。単位は台。(▲)内は前年度比増減率。▲はマイナス。は右。日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ。

件数横ばい、金額減

2月の公共工事動向

西日本建設業保証奈良支店は4日までに、2月の県公共工事動向(前払金保証実績)を発表した。前年同月比で件数は横ばいだった。請負金額は減少した。件数は前年同月と同水準の70件。請負金額は前年同

億9500万円▽建築1件、1億3500万円▽測量・調査・設計11件、1億6千万円▽などだった。地区別は奈良14件、6億2500万円▽郡山8件、4億1500万円▽高田10件、8億1100万円▽桜井16件、10億1700万円▽宇陀5件、3900万円▽吉野12件、12億2100万円▽五條5件、10億3500万円▽だった。